

台風19号をふりかえる

2019年10月12日、日本を襲った台風19号。富士見町も初めての避難所開設等により様々な課題が見え、それらに対し検討・措置がされました。河川等の被害状況も含め概要をお伝えします。

【避難所開設】 一次避難所…18か所 二次避難所…3か所 福祉避難所…2か所
※避難所運営の委託費 1,897,000円（補正）

【無線機】 連絡用に使用する無線機について、今回IP無線機(11台)を使用したところ、今までの無線機より性能が格段に良く連絡が効率よく行われたため、更に11台購入し今後も適切に配置し使用することとなった。 ※10台分 1,600,000円（補正）

河川等主な被害状況と対応

- ①武智川護岸崩落【木之間】
 - ・木之間区を流れる（普）武智川の護岸が崩落。
 - ・武智川を渡る武智川大橋の橋台部が洗掘されたため片側通行止めとしていた。
 - ・国土交通省富士川砂防事務所での直轄整備工事が予定されているため町単での仮復旧工事を行う。
 - ・仮復旧工事が完了すれば交通規制解除予定。
- ②田んぼ法面崩落【とちの木】
 - ・とちの木区内の田んぼ法面が崩落。
 - ・土手下にある水路の越水による崩落の為、建設事業協同組合の施工により復旧した。
- ③町道瀬沢釜無休戸線土砂崩落【先能】
 - ・釜無川つり掘りセンター付近で土砂崩落によって車輛通行止めとなった。
 - ・台風翌日(13日)に建設事業協同組合にて土砂撤去ののち交通解放となった。
- ④小川橋付近取水路閉塞【瀬沢】
 - ・瀬沢区内へ流れる水路の取水口が閉塞。
 - ・建設事業協同組合の施工により復旧。
- ⑤県道茅野北杜葦崎線冠水【高森】
 - ・高森ライスセンター付近の中央道ボックスカルバート内で40cmほど冠水。
 - ・通行規制は行わなかったが、注意喚起看板を設置し対応。

議会は

「**避難所開設に対する要望書**」を町に提出し、避難所における対応の明確化を求めました。

また、「**議会災害時対応マニュアル**」作成に取り組みます。

12月18日、西伊豆町にて「災害時の対応について」避難所開設、自主防災会などについて研修を行ってきました。

